



HINO

REPORT

2015年4月1日から2015年9月30日まで



日野自動車株式会社

証券コード 7205

持続的な成長に向けた取り組みを着実に推進



代表取締役社長 市橋 保彦

HINO REPORTをお届けするにあたり、代表取締役社長の市橋保彦より、ご挨拶申し上げます。

ご挨拶・上期総括

株主の皆様におかれましては、平素より当社の事業活動にご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度上期につきましては、海外主力市場で低迷が続きましたが、堅調な国内市場での増販、着実な原価改善等により、連結売上高は8,583億円、営業利益は542億円、純利益は372億円となりました。

下期の見通しにつきましては、国内市場は緩やかな景気回復により底堅く推移するものの、公共投資による需要の下支えは徐々に減退するものと予想される中で、1台1台大切に、お客様にお届けしてまいりたいと考えています。一方、海外市場につきましては、世界景気への不透明感が広がる中、当社の主力市場であるタイ・インドネシアにおいても市場の回復には時間を要するものと予想されますが、市場が堅調な北米等においては、市場の拡大をしっかりと取り込んでいきたいと考えております。

通期の業績予想としましては、足元の国内外の市場動向や為替動向等を踏まえた見直しの結果、販売台数等を修正しましたが、売上高と各利益につきましては、本年4月に公表いたしました予想を据え置くこと

いたしました。新興国市場を中心に、先行き不透明感が増しておりますが、全社一丸となって、この達成に取り組んでまいり所存です。

なお、中間配当につきましては、前回予想通り1株につき20円の配当を実施させていただきます。

当社の目指す姿

当社は、「良い商品」と「トータルサポート」でお客様のビジネスを支えることが事業の土台であると考えております。この土台をより強固にしていくことに加えて、今後は、持続的な成長に向けた取り組みを一層推進してまいります。具体的には、地域では日本・アジアに加えて米州を、商品領域では大型・中型に加えて小型トラックを強化し、収益力の向上・財務体質の改善を並行して進めることで、より安定した経営基盤を作り上げていく計画です。

これにより環境変化に強い体質を作り上げ、持続的な成長を目指していくことで、当社の使命である「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を実現してまいります。

コーポレート・ガバナンスの強化について

当社は、持続的な成長と中長期の企業価値向上を目指し、金融商品取引所の規定する「コーポレートガバナンス・コード」の理念や原則の趣旨・精神等を踏まえた様々な施策を講じて、コーポレート・ガバナンスの強化に努めてまいります。

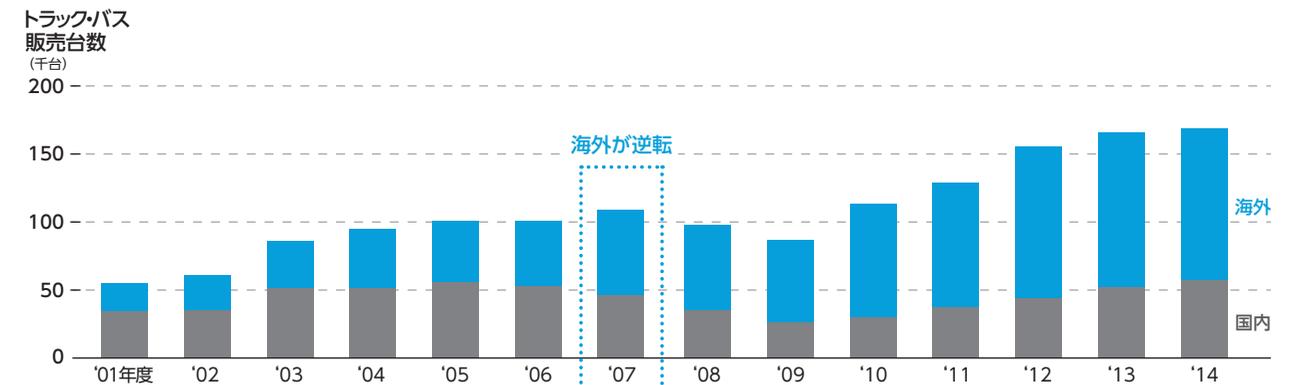
(コーポレートガバナンス・コードへの具体的な取り組みにつきましては、弊社ウェブサイトにも掲載しております)

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト



販売台数の推移

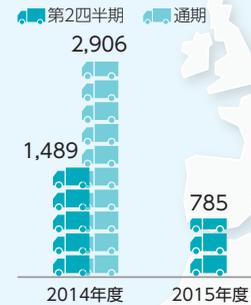




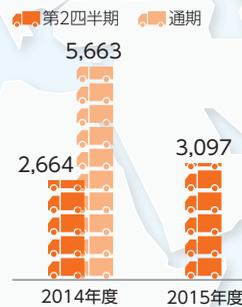
今年度上期のグローバル販売状況と主な海外トピックスを紹介します。

今年度上期の状況 (単位: 台)

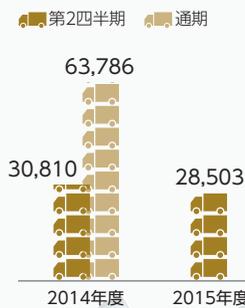
欧州



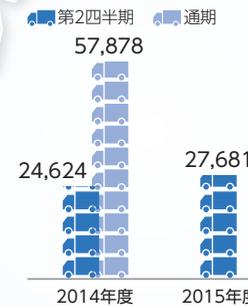
中近東



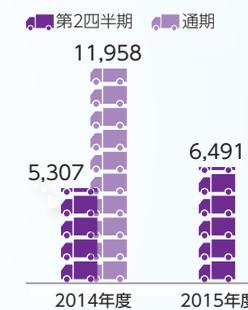
アジア



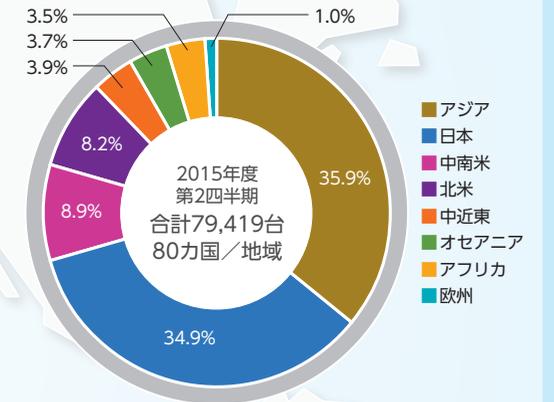
日本



北米



地域別販売構成比



フィリピン合併会社を子会社化

2015年7月、フィリピンの合併会社を子会社化し、「日野モータース フィリピン株式会社」(日野フィリピン) に社名を変更しました。経済成長とともに商用車需要が拡大するフィリピンを重要な市場と位置付け、お客様へのトータルサポート強化と日野ブランドのさらなる浸透を図ります。今後、販売体制を充実させるとともにトラック・バスのボディ架装事業を強化し、幅広いニーズにワンストップで応えてまいります。

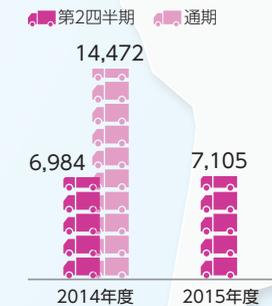


インドネシアに合併ファイナンス会社設立

インドネシアで現地自動車ビジネス大手PT. Indomobil Multi Jasaと住友商事の3社合併によるファイナンス会社を立ち上げました。日野の販売において日本に次ぐ世界第2位の市場であり、さらなる商用車需要の拡大が見込まれるインドネシアで、キャプティブファイナンス会社*として日野製トラック・バスの販売金融事業を始めました。現地ディーラーと一体となり、最適な車両のご提案に加え、車両の購入方法についても提案力を強化し、お客様の利便性向上を図ってまいります。

* メーカー主体の自動車販売金融事業

中南米



News & Topics ... No.1

持続的な成長に向け、構造改革を推進

日野は、構造改革の一環として市場適格車の開発とグローバル生産体制の構築を進めています。

2015年1月のインドネシアに続き、9月にはタイでもモジュール化による市場適格車を発売。多品種少量生産という商用車特有の課題に対応するため、日本で生産するコア部品と現地でカスタマイズする周辺部品とに作り分けるモジュール化の考え方を採用しました。これにより、お客様に合った商品をより早く提供することが可能になります。この考え方に基づく新車両を、今後数年間で各地域・市

場ごとに適格化して導入先を広げていきます。

また、この新たなモノづくりを支えるグローバル生産体制も最適化を推進。ユニット生産のマザー工場である新田工場では、エンジンやトランスミッション、デフキャリアの生産工程集約を進めています。さらに、大中型車両生産のマザー工場となる古河工場では、2015年4月からアクスル工場が稼働を始め、今後はフレーム・キャブ・車両組立の各工場が順次稼働開始を予定。国内の両工場を中心に、工程の再編・整流化を推進しています。



タイに導入した市場適格車



今年4月に稼働を開始した古河のアクスル工場

News & Topics ... No.2

小型トラック「日野デュトロ」の安全性能を向上させて新発売

2015年5月、小型トラック「日野デュトロ」の新モデルを発売しました。

今回の改良では、車両の挙動をコントロールし、事故発生の危険性を軽減に寄与する車両安定制御システム「VSC※」や、簡単な操作だけで確実な停車・駐車をサポートする「電動パーキングブレーキ」をディーゼル車とハイブリッド車に標準装備。

小型トラックのお客様ニーズに応え、さらなる安全装備の充実を図りました。

※VSC=Vehicle Stability Control。「VSC」はトヨタ自動車(株)の登録商標です。



安全性能を向上させた新型「日野デュトロ」

News & Topics ... No.3

東京都で燃料電池バスの実証実験を実施

2015年7月、東京都においてトヨタと共同で燃料電池バスの実証実験を行いました。

非常時における給電機能の実用性や走行性能の検証結果を元に、燃料電池バスの技術開発を着実に推進していきます。日野はトヨタグループの一員として、将来の輸送手段として期待される燃料電池バスの技術開発を加速させていきます。



実証実験を行った燃料電池バス

News & Topics ... No.4

小型トラックのトータルサポート体制を強化

◎千葉日野 千葉支店長沼営業所をリニューアルオープン

日野では現在、小型トラックの販売に力を入れるとともに、トータルサポート強化にも努めています。

その一環として、千葉日野自動車株式会社の千葉支店長沼営業所をリニューアルし、日野の販売会社としては初の中小型トラック・バスに特化した拠点としてオープンしました。整備レーンに中小型トラック・バス専用リフトを導入し、メンテナンス体制の強化と同時にお客様の利便性向上を図っています。

今後も、日野では拠点のリニューアルやリロケーションなどを進め、より迅速で高品質なサービス提供を通じてお客様に貢献してまいります。



中小型車両に特化しリニューアルした長沼営業所

News & Topics ... No.5

大型トラックと小型トラックが「JDパワー」を受賞

JDパワーが行った2014年顧客満足度調査の「大型トラック」「小型トラック」の2部門において、日野は、ブランド別総合ランキング1位に輝きました。

本調査は、全国の車両購入者を対象に満足度を測定し、「アフターサービス」「営業対応」「コスト」「商品」の4つのファクターで評価されるもので、大型トラック部門で日野は6年連続1位受賞となりました。

日頃のトータルサポート活動がお客様に高く評価いただいた結果と感謝するとともに、この評価に甘んじることなく、今後もお客様ニーズにお応えできるようトータルサポート強化を推進してまいります。

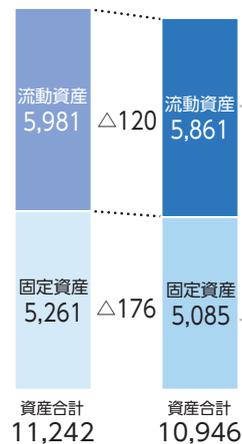
連結貸借対照表

2014年度末
2015年3月31日現在

⇒

2015年度
第2四半期末
2015年9月30日現在

(単位：億円)



● **流動資産** △120億円
売掛債権が139億円減少したこと等によるものです。

● **固定資産** △176億円
株価下落により投資有価証券が99億円減少したこと等によるものです。なお、生産設備を中心とした設備投資を205億円行っております。

2014年度末
2015年3月31日現在

⇒

2015年度
第2四半期末
2015年9月30日現在

(単位：億円)



● **負債** △425億円
未払金が154億円減少したことおよび有利子負債が117億円減少したこと等によるものです。

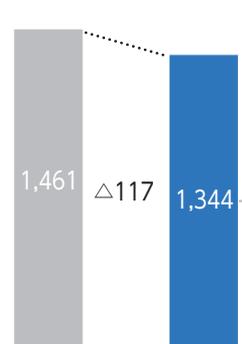
● **純資産** +129億円
剰余金の配当を126億円行った一方で、純利益を372億円計上したこと等によるものです。

有利子負債

(単位：億円)

有利子負債とは、短期借入金および長期借入金の合計値です。

2014年度末 ⇒ 2015年度第2四半期末

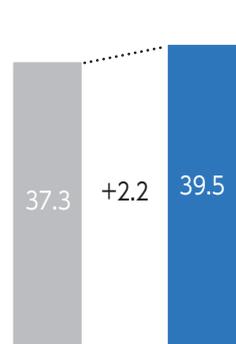


● **有利子負債** △117億円
営業活動によるキャッシュ・フローの増加が、投資活動によるキャッシュ・フロー等の減少を上回ったこと等により有利子負債が117億円減少しました。

自己資本比率

(単位：%)

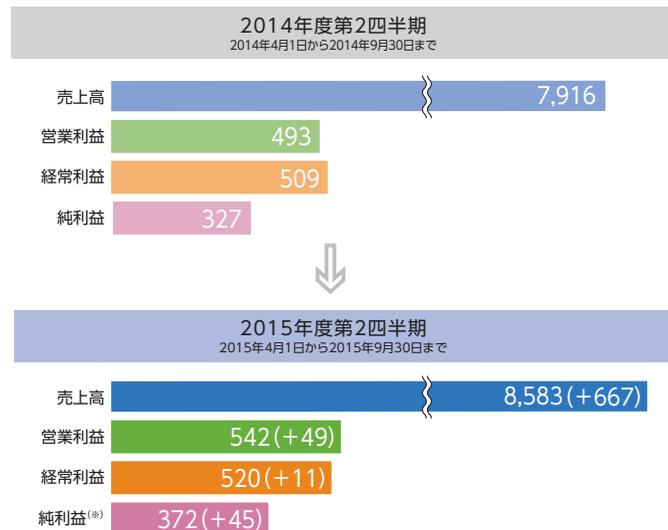
2014年度末 ⇒ 2015年度第2四半期末



● **自己資本比率** +2.2P
負債の減少および純利益の計上により、過去最高となりました。

連結損益計算書

(単位：億円)



() 内は対前年同期増減

● **売上高** +667億円 (+8.4%)
連結売上台数が増加したこと等によるものです。

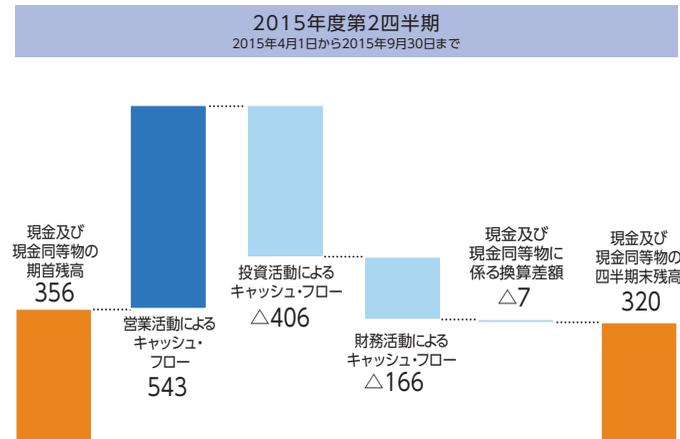
● **営業利益** +49億円 (+9.8%)
売上高が増加したことおよび原価改善と為替円安の影響等によるものです。

● **純利益** +45億円 (+13.7%)
主として、営業利益の増加等によるものです。

※親会社株主に帰属する当期純利益

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)



● **営業活動によるキャッシュ・フロー** +543億円
税金等調整前四半期純利益の計上が527億円あったこと等により増加しました。

● **投資活動によるキャッシュ・フロー** △406億円
生産設備を中心とした有形固定資産の取得による支出が361億円あったこと等により減少しました。

● **財務活動によるキャッシュ・フロー** △166億円
配当金の支払いが126億円あったこと等により減少しました。

会社概要	
日野自動車株式会社 HINO MOTORS, LTD.	
創 業	1910年(明治43年)
設 立	1942年(昭和17年)5月1日
資 本 金	72,717,284,641円
主要な事業所 および工場	本社・日野工場 東京都日野市日野台3丁目1番地1 〒191-8660 電話 (042) 586-5111 羽村工場 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目1番地1 〒205-8660 電話 (042) 579-0411 新田工場 群馬県太田市新田早川町10番地1 〒370-0344 電話 (0276) 56-5111 古河工場 茨城県古河市名崎1番地 〒306-0110 電話 (0280) 67-3500 茨城テストコース 茨城県常陸大宮市長倉2023番地 〒311-4613 電話 (0295) 55-3122 北海道芽室テストコース 北海道河西部芽室町雄馬別14線26番地1 〒082-0382 電話 (0155) 66-2511 日高配車センター 埼玉県日高市上鹿山689番地1 〒350-1234 電話 (042) 985-4747 青梅部品センター 東京都青梅市末広町1丁目5番1号 〒198-0025 電話 (0428) 32-9911
ウェブサイト	http://www.hino.co.jp/

取締役・監査役

代表取締役会長	市川 正和	取 締 役	萩原 敏孝 ^{*1}
代表取締役社長	市橋 保彦	取 締 役	吉田 元一 ^{*1}
取締役副社長	尾島 孝一	取 締 役	加藤 光久
取締役副社長	小梶 博	常勤監査役	前田 義秀
取締役副社長	鈴木 賢二	常勤監査役	渡 春樹
取締役・専務役員	遠藤 真	監 査 役	辻井 昭雄 ^{*2}
取締役・専務役員	梶川 宏	監 査 役	北村 敬子 ^{*2}
取締役・専務役員	久田 一郎	監 査 役	北原 良章 ^{*2}

^{*1} 社外取締役 ^{*2} 社外監査役

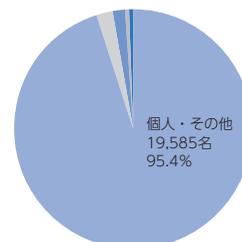
株主の状況		
発行済株式総数	574,580,850株	
株 主 数	21,826名(前期末比8,932名増)	
大 株 主		
株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	287,897	50.21
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,008	5.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,202	2.65
資産管理サービス信託銀行株式会社(投信受入担保口)	10,432	1.82
ザバンク オブ ニューヨーク ノントリーティー ジャスデツク アカウント	7,924	1.38
東京海上日動火災保険株式会社	6,104	1.06
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	6,061	1.06
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	4,804	0.84
株式会社永坂産業	4,255	0.74
ジェーピー モルガン チェース バンク 385078	4,222	0.74

(注) 持株比率は自己株式(1,233千株)を控除して計算しております。

所有者別株式の分布状況

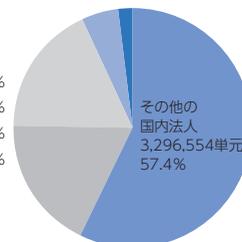
株主数および比率(合計 20,525名)

■金融商品取引業者	58名	0.3%
■金融機関	82名	0.4%
■その他の国内法人	330名	1.6%
■外国人等	470名	2.3%



株式数および比率(合計 5,744,160単元)

■金融商品取引業者	97,321単元	1.7%
■個人・その他	290,852単元	5.1%
■外国人等	1,020,489単元	17.8%
■金融機関	1,038,944単元	18.1%



(注)

- 上記株主数、株式数には、単元未満株主1,301名、単元未満株式164,850株は含まれておりません。
- 「個人・その他」には、自己株式が12,334単元含まれております。また、1.の単元未満株式には自己株式が86株含まれております。

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 確 定 日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株 主 名 簿 管 理 人	東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
株式に関する手数料	単元未満株式買取手数料 無料
公 告 方 法	以下の当社ウェブサイトにて電子公告により行います。 http://www.hino.co.jp/j/corporate/ir/koukou/index.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京、名古屋各証券取引所
証 券 コ ー ド	7205
1 単 元 の 株 式 数	100株

◇特別口座について

特別口座とは、株券電子化(2009年1月5日)の実施までに、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が三菱UFJ信託銀行株式会社に開設した口座です。

◇特別口座の留意事項

- 特別口座に記録された株式を売却するには、株主様が証券会社等に口座を開設し、株式の振替を行う必要があります。
※単元未満株式の買取請求は特別口座のままでも可能です。当社の買取手数料は無料ですので、是非ご活用ください。
- 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお願いいたしません。

【(ご案内) 少額投資非課税制度口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて】

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である株式数比例配分方式をお選びいただく必要があります。なお、期末または中間配当金につき株式数比例配分方式をご利用いただくためには、それぞれ上記の期末または中間配当金の株主確定日までにお手続きを完了しておく必要がありますのでお気を付けください。
NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

【株式に関するお手続きの窓口について】

◇特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○特別口座から証券会社等の口座への振替請求 ○単元未満株式の買取請求 ○住所・氏名等のご変更 ○特別口座の残高照会 ○配当金の受領方法の指定	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00) ※三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	[手続書類のご請求方法] 電話およびインターネットにより24時間承っております。 ○音声自動応答電話によるご請求 ☎0120-244-479 ○インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufj.jp/daikou/

◇証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ○支払期間経過後の配当金に関するご照会 ○株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 ☎0120-232-711(受付時間:土・日・祝祭日を除く平日9:00~17:00)
○上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

日野自動車株式会社

〒191-8660

東京都日野市日野台3丁目1番地1

電話 (042) 586-5111 (代表)

<http://www.hino.co.jp/>

ユニバーサルデザイン (UD) の考え方に基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

